

学生会議

通
信

NO. 36
69' 1. 9
東京教育大學
學生會議

日共・民青のスト敵対策動をはねのけ、

入試中止を踏台としたスト收拾策動・強行的大学改編粉碎。教育の帝国主義的再編阻止。本日、東大闘争勝利全斗總決起集会に

総結集せよ。

（本日）
東大安田訂
（教育大集会）
（36）
（堂前）

教育大のすべての学友諸君、とりわけ半年前に反
不バリケード・ストライキを廟に扱いた戦闘的学
友諸君、毎日学園闘争の爆発・尖鋭化のななで廟に
抜ぬだきた我々の筑波移転阻止闘争は、入試中
止を転換点とする新たな局面を展開している。スト
突入以来大学当局者は、さまざま内部的分岐にも
なかなからずともなくストを收拾させるとしている。スト
をはりめぐらせてきたが、その一切が折するや、
入試中止を自ら提起することによる軍学斗連抗
の孤立化／ストライキ封殺を現実化しようとしてい
る。大学上層権力／移転推進派は、ほぼ政府文部省
と同様に、この入試中止をテコとして、教育大の強
权的改編を「大学休校／閉鎖」をも展望した上で一
主導されたスト圧抑新体制の構築／「新學部長・評
議員の選出」というベースに加速度的に巻き込みれ
つである。

このような動向は教育大のみに限定された事態で
はない。上智大においては戦闘隊導入／休校とい
うとしている。とりわけ、日大と並んで毎日学園斗
争の天王山と目される東大の今日的事態は、我々に
民青・有志連合等／入試要請運動とみごとなハーモ
ニーを保ちつつスト收拾への巨大な流れを形成せ
んとしている。とりわけ、日大と並んで毎日学園斗
争の天王山と目される東大の今日的事態は、我々に
とつて決して黙殺できないものを含んでいる。

七〇年安保を明確に自らの射程距離内にあいた政
府支配者所縊は、生々民的政局斗争の尖兵／战斗的
學運動を根底から圧殺し、その存立基盤自身を根
こそぎにしようとする野心を、現在的に学園斗争に

対する徹底的な彈圧として實踐しようとしている。
入試中止を道具とした相場、あるいはそれを現
変化し利用した大学の根本的／改革／へ／帝國主義
的再編／こそその最も端に表現なのである。

さらに、このような密接した反革命的な登場す
る所に坐す日共・民青な、あたかもその影のづ
とく出現し、反革命的支配の補完を策動しているこ
とを見ておなじはならない。東大において、日共民
青系諸君は、今や、アスト解除の意図をもあらわ
手を握り、本来の右翼的本質を自己暴露してい
る。それだけではない。彼らの右翼的野望の一大ステッ
アたる「全學集会」「駒場代議員大会」を物理的方
暴力をもっても貫徹しようとしているのだ！

我々はなる敵権力の別効隊、ヒエロ的合唱隊、
日共・民青の党派性／「全學集会」を投げ捨て
た党派利益の貫徹を絶対許容できないし、また東大
一点に集中させた革労派と反動派の激突を勝利的
に扱くことを媒介として教育大内部における日共
民青と我々の労関係を根本的に半永久的に転換せし
め、筑波移転実力阻止闘争を最後まで断つてやる組織
的力量を再構築していかねばならない。

東大の战斗的学友が死に打電していく今日の事
態を、そして9・10日の廟に、我々の正しく鎌
受信耗はほつきりと受け取めなければならぬ。二
の廟に突破口として今まで相対的に孤立化し分断
されて進行してきた各学園斗争の連帶の崩壊と具体
性をもちとらぬるのだ。日共・民青の反革命的策動
を徹底的に粉碎し、大学の帝国主義的再編の野心を
ことごとく葬り去ろう／日共・民青との暴力的対決
に断乎として勝利し、毎日学園斗争の未来をつくり
だそろ。